

みんなのうちに
リデザイン、
まちなかも
リニューアル

市民サロ
ん
を考
る再
地区
丸
vol.3

みんなのうちにサロん

今回のテーマ
盛岡らしい場所はどこ？



参加費無料

2023年1月28日(土)

時間 14時～16時(開場13時30分)

会場 盛岡という星で BASE STATION

盛岡市菜園 1-8-15

パルクアベニュー・カワトク cube-II B1

Guest

赤坂 環 (ライター・エディター)
木村敦子 (デザイナー)



有限責任事業組合まちの編集室(てくり編集・発行)

盛岡の地域ミニコミ誌「てくり」を2005年に創刊。以来、年2回のペースで「伝えたい・残したいふだんの盛岡」をテーマに発行を続ける。

ライターの赤坂環さんは、情報誌の編集や「食」をテーマとした取材を多数手掛けている。デザイナーの木村敦子さんは、企業パンフレット、ロゴマーク、パッケージデザインなど、印刷物を中心に手掛けるデザイン事務所を運営。もうひとりのライターである水野ひろ子さんと共に2020年、(株)クラシカウンスルを設立し、伝統工芸の普及振興やイベント運営などを行っている。



うちまるサロンについて

盛岡らしい場所はどこ？そこでやってみたいことは何？



内丸地区の一体再整備、50年に一度の一大プロジェクトの検討が始動しています。

内丸地区の官民関係者が一丸となって、令和4年3月には「内丸地区将来ビジョン」が策定され、令和4年度から、内丸地区再整備に向けてより具体化する（仮称）内丸プランの検討を進めています。内丸は、官庁街はもとより、金融機関や企業の本社、商業施設が立地し、県都盛岡の行政・経済の中心であり、医療機関、文化施設等の多様な機能も集積し、この地で受け継がれてきた盛岡固有の歴史・文化や自然環境等の魅力資源とともに、都市のイメージを向上させ、北東北を牽引する役割を担っています。

内丸が変わるということは、盛岡のまちなか全体が生まれ変わるということ。

そんな使命感のもと、大切にしたい視点として、「盛岡の中心で、盛岡らしさとは？次の時代に残すべきもの、新たに果たすべき役割は何だろう？」を考えながら、エリアで一体的に再生し、創造的で魅力あるまちにリデザインすべく、検討を進めています。

市民のみならずにとっても、内丸は、県庁、市役所、裁判所（石割桜）など国庁舎、公会堂、警察署、銀行、大学病院、県民会館、テレビ局、新聞社、盛岡城跡公園、櫻山神社、中津川、さんさ踊りの中央通り…いろいろな魅力をもつ「盛岡の顔」です。

これからもずっと内丸が「盛岡の顔」であるために、『みんなにとっての盛岡らしさ、内丸、そして将来への様々な期待の声を届けてほしい！』そんな思いで市民サロンを開催します。

うちまるサロン第3回は、自分たちなりにまちを使いこなすことを考えます。

「内丸地区将来ビジョン」の内容は、盛岡市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1039029/index.html>



開催概要

時間 2023年1月28日（土）14時～16時（開場13時30分）

会場 盛岡という星で BASE STATION

（盛岡市菜園 1-8-15 パルクアベニュー・カワトク cube-II B1）

参加費無料 定員 40名（先着順）

当日の流れ ゲストによるミニレクチャー▶参加者意見交換▶アンケート

ゲストの話を聞いて内丸について、みんなで考えましょう。

ご自分の好きな盛岡の風景、お気に入りの場所などの写真とそのデータを当日お持ちください。

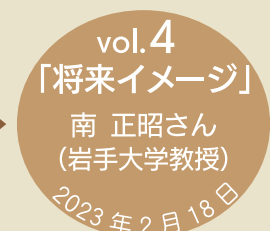


申込方法

QRコードを読み込み、申込サイトにアクセス。お名前、ご住所、メールアドレスを入力してください。

当日の様子は、グラフィックレコーディングで記録して、市ホームページにて公表予定です。

今後のテーマ



主催：盛岡市

問い合わせ先：盛岡市都市整備部都市計画課

TEL 019-601-2718（ダイヤルイン）／FAX 019-637-1919（代表）

E-mail toshikeikaku@city.morioka.iwate.jp